令和8年いわて農業DX加速化推進事業
第2回デジタル人材育成研修会
～ロボットやAIは岩手県の農業をどのように変えるのか～
開催要領

１　目的

県では、人口減少や高齢化が進む中、効率的で収益性の高い農業の実現を目指し、スマート農業技術を活用した農業 DX の推進に取り組んでいます。

農業 DX を進めるためには、スマート農業機械の導入に加え、AI やデータ、ロボット技術等を活用した経営改善や生産性向上、さらには働き方改革につなげていくことが重要です。

本研修会では、「ロボットやＡＩは岩手県の農業をどのように変えるのか」を切り口に、ロボット技術やフィジカル AI 技術による農作業の省力化・自動化の最前線について学びます。

さらに、最新技術の活用によって実現する新たな農業の姿や働き方の変化について理解を深め、岩手県農業の持続的な発展に向けた将来像を展望します。

２　主催

岩手県、いわて農業ＤＸ推進連携会議

３　日時

令和８年 11 月 18 日（水）13:30～15:30（受付 13:00～）

４　場所　盛岡南ショッピングセンターNACS 内　NACS ホール

（岩手県紫波郡紫波町桜町 1 丁目 12-1）
JR 紫波中央駅から徒歩 15 分、無料駐車場有

５　内容

(1) 情報提供
「ロボットを中心とした農業分野におけるフィジカル AI 活用の現状」
岩手県農林水産部農業普及技術課　上席農業普及員　山口貴之

(2) 講演（各分野における先端的な技術の紹介）
「自律型 AI ロボティクスによる持続可能なアグリテックの未来」
株式会社 SYN-ROBOTICS　三木浩
「人の手の「コツ」をロボットに教える ― 葉かき・芽かきへの挑戦」
Inaho 株式会社　福原あおい
「運搬作業を飛躍的に軽労化する自律走行運搬ロボット」
滝沢ロボティクス合同会社　田尻隼人

(3) 総合討議
「ロボットやＡＩは岩手県の農業をどのように変えるのか」
パネラー
・株式会社 SYN-ROBOTICS　三木浩
・Inaho 株式会社　福原あおい
・滝沢ロボティクス合同会社　田尻 隼人
コーディネーター
・岩手県農林水産部農業普及技術課　農業革新支援課長　前山薫

６　参集範囲

生産者、市町村、ＪＡ、いわて農業ＤＸ推進連携会議構成機関・団体、県関係機関　等

７　定員

100 名

８　参加申込

別紙様式により、令和８年 ~~11 月 9 日（月）~~11 月 13 日（金）17 時までに、電子メール又はＦＡＸにて申込みをお願いします（定員になり次第受付を終了します）。

９　問合せ先

岩手県農林水産部農業普及技術課農業革新支援担当　山口
TEL：019-629-5652　FAX：019-629-5664　E-mail：takayuki-y@pref.iwate.jp

10　その他

参加費は無料です。